ニュースリリース

令和 3 年 6 月 30 日

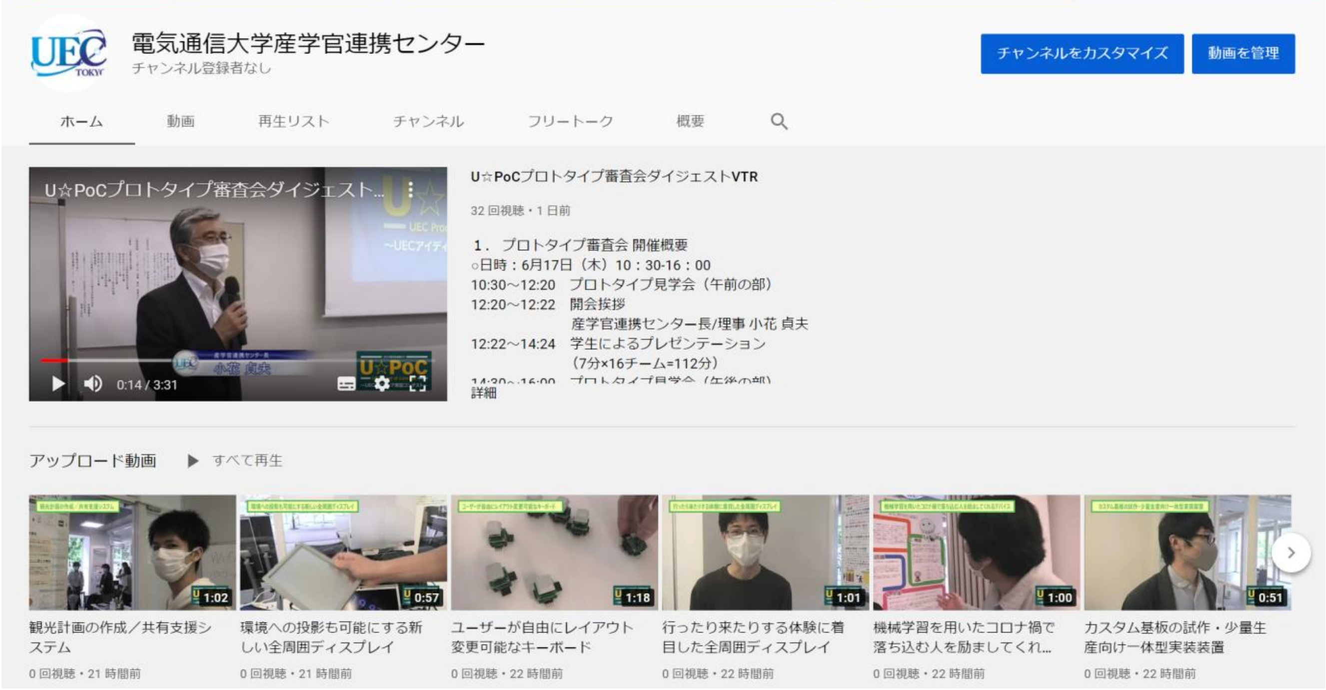
報道機関　各位

国立大学法人　電気通信大学

U☆PoC アイディア実証コンテスト 2021
産学官連携 DAY にて結果発表
産学官連携センターの YouTube アカウントで配信

国立大学法人電気通信大学（学長：田野俊一、以下「本学」）で、6 月 17 日に実施した「U☆PoC アイディア実証コンテスト」の二次（プロトタイプ）審査会の結果、大学賞受賞の 3 組が決定しました。また、産学官連携センターYouTube チャンネルを開設し、本日開催の産学官連携 DAY にて、全 15 チーム(※)の発表の様子をダイジェスト動画で振り返り、大学賞 3 組を発表しました。
(※)知的財産権の関係で発表内容を公開していないチームがあります。

【電気通信大学産学官連携センター　YouTube チャンネル】
https://www.youtube.com/channel/UC-bEawybSJrHRGEgk6ZoQEw



【U☆PoC とは】

「U☆PoC（ユーポック）」とは、本学の産学官連携センターベンチャー支援部門にて平成 9（1997）年より「学生・一般アイディアコンテスト」、平成 27（2015）年からは「UEC ものづくりコンテスト」として開催してきた、電気通信大学の中でも人気ある名物コンテストになります。

既存の社会問題解決や、未来の豊かな生活のための新たな技術・サービスに関する学生発アイディアを競い、育むことを目的としています。

【プロト審査会の様子】

本学では、協賛企業と学生との対話、コミュニケーションを大切にするプロトタイプ審査会を心掛け、協賛企業の希望者全員が審査に参加できるよう、従来のプログラムを大幅改定して、審査会を挙行しました。この改定により、協賛各社からもアイディアやアドバイスが学生に生の声で伝わり、そのアイディアに学生がブラッシュアップのヒントを得るなど、例年にない盛り上がりとなりました。

また、従来の一方通行の発表のみという形式にとらわれず、プロトタイプ商品やポスターを会場に配置し、協賛企業や審査員、学生が自由に見学して回れるプログラム形式で実施しました。会場全体に 16 チームのポスターを掲示し、本番のプレゼンテーション前に見学できる空間を用意し、本番後さらに後半のプロトタイプ見学会で、発表時の疑問点や興味などを、学生に質問を投げかける 3 部構成としました。

この結果、ブースに残る学生、協賛企業社員の皆様、本学教授陣、専門の外部審査員、中国深圳からの専門審査員中継、本学理事の参加など、学生と審査員がお互いに疑問点などの細かな部分まで個別に対話ができ、より本気度の増した学生たちの回答にも熱が入り、一丸となった現場の盛り上がりが会場内を伝播したコンテストとなりました。

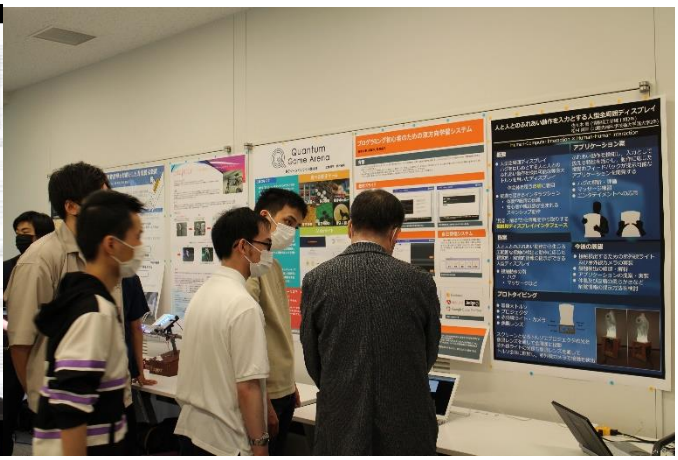
【会場の工夫】

会場となった UEC アライアンスセンター100 周年記念ホールでは、会議室をコの字型に 16 チームのポスターを窓及び壁に掲示、その下部スペースにノート PC やプロトタイプを設置しました、また、従来の審査プログラムを 3 段階に分け、①プロトタイプ見学会（午前の部）、②プロトタイプ審査会（プレゼンテーション）、③プロトタイプ見学会（午後の部）と 3 回に分けて開催し、会場内は常時 30 人を最大人数として感染症対策に配慮した体制で行いました。

「U☆PoC」の審査会場においては、より安全安心なイベント開催のため、本学情報理工学研究科情報学専攻 石垣 陽 特任准教授らの開発した高精度 CO_2 濃度測定器「ポケット CO_2 センサー」を設置。通常の新型コロナウィルス感染症対策に加え、会場内の二酸化炭素（CO_2）濃度の分布をリアルタイムに可視化し、換気の目安とするなどの対策を行いました。

密を回避するため、教室内人数最大 30 名（大学規定通り）を遵守し、プログラムを 3 段階に分けることで、協賛企業各社の見学人数希望を全て受け入れる形での開催を実現しました。

これまで 23 年間毎年開催してきた「ものづくりコンテスト」ですが、昨年はコロナ禍の為、開催を見送りました。今年も開催を模索する中で、中国深圳の審査員と中継で結び、会場にプロトタイプ品を展示し、審査員は会場のみならず海外からも ZOOM を使用して展示物を見て回ることができるよう工夫しました。プレゼンテーション及びプロトタイプは「オンライン×対面式」のハイブリッド形態で審査され、スクリーンからは、発表資料と同じサイズで、審査員からのアドバイスや質問が表示され、会場内は緊張感と迫力ある空間となりました。



＜中国深圳から審査員の高須氏と現場中継＞　＜会議室周囲にポスターとプロトタイプ掲示＞

【2021 年の結果発表】

このたび 6 月 17 日（木）に、UEC アライアンスセンター100 周年記念ホールにおいて、書類による一次審査を通過した全 16 チームによる、プロトタイプおよびプレゼンテーションによる二次審査会が行われました。

審査会には大学審査員、外部審査員、協賛企業（9 社）が出席し、プレゼンテーションの前後には学生との意見交流の場も設けられました。

審査会終了後、大学・外部審査員による会議の結果以下の大学賞が決定しました。

＊優秀賞　池澤隆人さん（情報理工学域Ⅱ類 4 年）、羽田野湧太さん（情報理工学域Ⅰ類 4 年）
テーマ：「個人間の容易な約束事/合意提供サービス」

＊奨励賞　森下順さん（情報理工学域Ⅰ類 4 年）、福本涼太さん（情報理工学域Ⅰ類 4 年）
テーマ：「主婦を対象としたがん検診受診率向上のための医療機関予約システム」

＊入賞　山本衛門さん（情報理工学部電子工学プログラム 3 年）
テーマ：「カスタム基板の試作・少量生産向け一体型実装装置」

今後、7 月 16 日（金）に行われる表彰式において、大学賞の授与とともに、今回のコンテストに協賛、参加頂いた 9 社により授与される「協賛企業賞」の発表があります。

また、11 月 21 日（日）に行われる調布祭（※第 2 回オープンキャンパスと同日開催）にて、最終成果発表会を予定しています。

【協賛企業一覧】

アフラック生命保険株式会社様
株式会社きらぼし銀行様
株式会社クレスコ様
ソフトブレーン株式会社様
ネクストソリューション株式会社様
株式会社ハートビーツ様
株式会社フローベル様
レッドインパルス株式会社様
株式会社 B-STORM 様

【外部審査員】

PnO代表 東京デバイセズ株式会社執行役員　岡島 康憲 氏
ニコ技深センコミュニティ共同発起人 深圳大公坊創客基地　高須 正和 氏

【大学審査員】

電気通信大学　産学官連携センター及びベンチャー支援部門　教員3名

【協賛企業の募集】

本学と一緒に「U☆PoC」（ユーポック）を通して、「Society 5.0」社会の実現に貢献する「現代社会の課題を認識し、その解決には何が必要なのかを自らが考え、判断し、行動できる」人材の育成に賛同し、本コンテスト事業に協賛いただける産業界の皆様を募集しています。本コンテストの審査を通して、現代社会の課題解決に挑戦する学生達と、幅広く、あるいはより深く知り合う場として活用頂きたいと考えています。

＜U☆PoC　開催内容に関すること＞
　電気通信大学　産学官連携センターベンチャー支援部門
　U☆PoC 事務局　　高木克人（特任准教授)、小柳光史（産学連携コーディネーター）
　Tel：042-443-5973　　E-Mail：upoc@sangaku.uec.ac.jp
＜報道に関すること＞
　電気通信大学　総務企画課　広報係
　Tel： 042-443-5019　Fax： 042-443-5887　　E-Mail：kouhou-k@office.uec.ac.jp